

日吉台の福祉

発行 日吉台学区社会福祉協議会

ホームページ <http://www.geocities.jp/hiyoshidainohukushi>

ふれあいの町 日吉台

日吉台学区自治連合会
会長 大瀧 岩夫

住民の皆さん、平素は自治連合会（各丁自治会）の行事にご協力・ご支援ありがとうございます。

自治連合会の現状を簡単にご説明させていただきます。

平成15年日吉台学区自治連合会は、大津市認可の地縁団体となり、地域住民は自治連合会の会員になる資格がありますが、その加入率は年々低下しつつあります。自治連合会（8自治会）の活動は、少子高齢化に対応した自治会活動に向けて、改革を進めてきていますが、住民の皆様方に必ずしも十分ご理解していただけていないのが現状です。

今年度の自治連合会総会で特別委員会「今後の日吉台を考える会」が発足して、皆様のご期待に沿うよう鋭意努力しています。安全・安心・明るく元気・「思いやりのある」まちづくりに取り組んでいます。

住みよいまちづくりに活躍されている団体は、日吉台学区に22団体あります。その団体はボランティア団体で、活動資金は大津市助成金・自治連合会助成金・住民の方々からの賛助金等で運営されています。各自治会費の中から自治連合会を経由して各種団体に活動助成金をお渡ししていますが、原資は自治会員の減少（平成16年度1,380世帯から平成21年度1,205世帯）で、活動資金が少なくなり、その活動にも影響が出ています。

昔から言われている言葉で、遠い親戚より、近所の他人。災害時緊急の場合、頼りになるのが隣近所ではないでしょうか。阪神・淡路大震災の時、瓦礫の下から救出された人々の80%が、ご近所の方によると伝えられています。ご近所とは『もしもの時』のためではなく、いつもお付き合いしたいものです。地域の人たちと挨拶を交わし、支え合い助け合って過ごす時間が『もしもの時』の大きな力になるのではないのでしょうか。皆さんで協力して、“ふれあいの町 日吉台”まちづくりをしましょう。

自治会加入・皆様のご要望などは、自治会長宛にお願いいたします。



福祉のまちづくり講座の結果報告

去る2月14日（日）14時30分より、日吉台市民センター大会議室にて、日吉台学区自主防災会と日吉台学区社会福祉協議会が共催し、(財)神戸市防災安全公社理事長長手 務氏を講師に招き、「大震災、その時何が起こったか？そして気付いた大切なこと」と題した防災講座を83名の参加者を得て開催しました。

15年前に起こった阪神大震災は、6,434人も尊い生命を奪いました。1月17日（火）5時46分、外は暗く、稲妻が走り、ゴーという音とともに家が大きく揺れたので、驚いて飛び起き、家族を起こしてから外に出て、近所に声を掛け合っ、お互いの安全を確認しました。



- ◆災害が発生した時に、まずなすべきことは、生命を守り残すこと、我がまをを抑えること、いざという時の行動を決めておくこと。
- ◆減災・抑災のために、平常時にいかに非常時の備えをするかが大切で、家具の固定をはじめ、構造物をしっかりとしたものにする。良いコミュニティを作り、予防に力を入れること。
- ◆自主防災組織に望むことは、みんなで力を合わせ、多くの方が参加できるように工夫をして、無理なく実働訓練も実施すること。
- ◆そして、志を大切にテクニクを磨き、健康で良いチームを作り、安全で安心な住み良いまちづくりを目指すこと。

参加者の皆さんは、災害時の助け合いは、日頃の支え合いが大切なことを再確認されたことと思います。この講座を機会に、さらに各町自主防災会活動が、多くの方々の参加によって、活発になることを期待されるところです。

地域福祉講座（ケア会議）を開催しました

平成22年2月23日（火）日吉台市民センターにおいて 第3回地域福祉講座を開催し、医療アドバイザー 多田幸生氏に「かかりつけ医と医療情勢について」と題して、永年医療機器業界にお勤めの経験を生かして、昨今の医療情勢についてお話をいただきました。

自分や家族の面倒を親身になってきちんと診てくれ、変化があればすぐに専門医に紹介してくれるかかりつけ医を持つことが大切であること。健康診断は年に一度はすること。診断は専門医の診断が良いこと。手術・治療などは、セカンドオピニオンと比較すること。ガン（悪性腫瘍）は、早期発見・早期治療が大切なこと。乳がんは、若年層で増えており、受診率が低いこと。胃がんの原因と言われているピロリ菌は、抗生物質で除菌できること。脳卒中は、寝たきりになる方が多い病気で、注意としてはストレスなどの生活を避け、寝る前にコップ一杯の水分補給が大切。予防としては、暖かい部屋から寒い場所への移動するときには、防寒をする。冬の入浴で



異常が見られた時は、すぐに救急車を呼ぶこと。介護が必要になって施設に入所する時は、どんな施設でどれくらいのお金がかかるかも調べておくことが必要など、詳しく説明していただきました。

結びとして、健康に過ごすためには「人と会い社会と交わりを持つことによって、寝たきりにならないことが大切」と締めくくられました。

“ふれあいサロン日吉台” 活動報告

◆おでかけサロン

1月11日（月曜日） 泉涌寺七福神めぐり

1番福祿寿から7番寿老人まで、2つの番外と合わせて9つの寺を回り、笹にそれぞれ縁起物をつけ、福を授かりました。お昼は京料理をいただき、午後からは新熊野神社、豊国神社、大仏殿跡、耳塚などを見学して京都駅で解散をしました。お天気に恵まれた一日でした。



2月は寒い時期なのでお休み

◆ふれあいサロン

1月27日（水曜日） ゲームとクイズで初笑い・大根炊き

ご飯と卵焼きなどのおかずを用意しました。今年も大根炊きは好評でした。食後は手作りゲームとクイズで頭の体操をしました。個人戦、団体戦とも皆さん熱が入り、解答の早さには驚かされました。これからのサロンにゲームやクイズを取り入れて、楽しみたいと思います。



2月24日（水曜日） 新舞踊（夕扇会）・ぜんざい

オリンピックのフィギュアスケートの熱戦がくり広げられている最中、ふれあいサロンでは、艶やかな和服姿の夕扇会のみなさんが、石川さゆりや美空ひばりの馴染みの曲にあわせて新舞踊を踊ってくださいました。細やかな情感あふれる舞に70名余りがうっとり……！ 踊りの後のおやつタイムに、白玉入りの“ぜんざい”をみんな揃っていただきました。

民生委員児童委員協議会よりお知らせ

《紙おむつサービスのご案内》

◎簡単に言うと … 寝たきりや認知症により紙おむつを必要とする在宅の高齢者に紙おむつを支給します。

◎具体的には …

①実施するサービス

- ・ 1月あたり 5,400 円分 (1,350 円×4枚) の紙おむつ券を交付します。
- ・ 大津市薬剤師会に加入している薬局・薬店で紙おむつと交換してください。

②紙おむつ券の交付方法

- 担当の民生委員を通じて、次の区分によって、紙おむつ券をお渡しします。
- ・ 継続の対象者には、4月・8月・12月に4か月分の紙おむつ券を前渡します。
 - ・ 新規の対象者には、申請書を受理した翌月分から、4月・8月・12月までの紙おむつ券を前渡します。

◎対象となるのは … 次の要件を満たす高齢者です。

①市内に住所を有すること、②65歳以上であること、③加齢に伴う身体上又は精神上的の障害によって寝たきり又は認知症となり、常時紙おむつを必要とする状況が3か月以上継続していること。④在宅で介護を受けていること。⑤要介護1・2・3・4・5のいずれかの認定を受けていること。⑥在宅重度障害者施策（障害福祉課）によって紙おむつの給付を受けていないこと。

◎利用の料金は … 無料

◎行っているところ … 大津市薬剤師会に加入している薬局・薬店で紙おむつと交換してください。

◎申請の手続き … 担当の民生委員に申し出てください。対象となる方の状態の調査と申請手続きの代行を行いません。

福祉事業賛助金のお礼

日吉台2丁目 宮崎 勝治 様より福祉事業賛助金を頂戴しました。誠に失礼ながら、ご芳名を掲載させていただくことにより、お礼といたします。

お陰様で、平成21年度の福祉事業賛助金は、昨年度を上回る192名の方々より332,000円のご厚志をいただきました。この皆さまの善意は、明るく住みよい「福祉のまちづくり」の資金として、「福祉まつり」や「ふれあいサロン日吉台」等の様々な事業に有効に活用させていただきます。